

「自助」「共助」「協働」で災害に強い街づくりをめざそう！ 岸根町町内会自主防災だより（第14号）

2023年（令和5年）10月 自主防災部発行

大正12年（1923年）9月1日、11時58分に関東大地震が発生してから100年の節目をむかえました。横浜が最大の被災地とも言われています。東京は震度5強程度、横浜は6強以上で、横浜は全体が焼け被害は殆んど知られてこなかったそうです。このような地震から得た教訓を継承して、防災意識を高めて、いつ、このような大規模な地震が発生しても対応できるよう、災害に対する対策を怠ることなく日頃からの備えを確認していくことが大切です。

本年2月に岸根町町内会会員宅に全戸に配布しました 「防災フアイル」を活用していますか？

1 港北区防災マップ

一度、広げて見て下さい。大きな港北区全体の地図には地域防災拠点、広域避難場所などが掲載されています。防災用語の解説もあります。裏面には自宅の安全対策が具体的に示されています。備蓄品や非常用持ち出し品の一覧があります。地震発生時の火災対応も確認しましょう。

- 炎が天井までとどく位になった⇒ 初期消火を止め、すばやく避難
- 火災が発生 ⇒ ○家の外に避難したら⇒ 周囲に大声で火災の発生を知らせ、119番通報
- 火災の規模が大きい⇒ 広域避難場所等へ避難

2 地震発生時の初期対応

3 災害発生時連絡カード

必要なことが記載されていますか

4 わたしの防災力ナビ

5 ローリングストックについての解説

6 災害時安否確認カード

震度5弱以上の時に使用して下さい。



以上、6種類がひとまとめになっています。もう一度しっかりと内容を確認しましょう！